

平成28年6月12日
今週のベストショット



雁レク2 三苦ホーネッツ 対 新町パイレーツ戦
和白リーグ初の同日ノーヒッター&サイクルヒット達成のホーネッツ矢野投手。
写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬旭

青松園B レッド八島選手 いろんな意味で流れを変えた一打！！

レッドサンデーズ（1勝3敗）0053 8 塚本○、古賀一荒口

新町ウインズ （2勝1敗）3003 6 藤田●一永渕

HR：八島（レッド） 2BH：永渕（新町ウ） 盗塁：安藤（一）、桐島（新町ウ）

今にも雨が降り出しそうな中、開始時間を10分早めて試合開始。一回表、ウインズ藤田投手はレッド打線を三者凡退で退ける、幸先の良い立ち上がり。その裏、打線もその流れを引き継ぎ、好投手レッド塚本投手を攻め、五番桐島選手のライト前タイムリー、六番長岡選手のタイムリー内野安打にて3点を奪う。二回にもウインズは先頭の野中選手がヒットで出塁し、二死満塁、打者四番藤田投手の大チャンスを迎えるが、ここはレッドのエース塚本投手が三振を奪い、無失点で切り抜ける。ピンチの後にはチャンスあり！三回表、レッドは先頭の八番荒口選手が粘って四球を選ぶと、途中から激しくなった雨の影響か、突如藤田投手の制球が乱れ、連続暴投で難なく1点を返すと、四球、ヒットなどで一死満塁の大チャンス。ここで「42年に一度のスランプです。」と試合前に発言していた四番八島選手。藤田投手の失投とも言える3球目を振り抜いたその打球は、きれいに左中間を抜く満塁弾で一気に逆転！その流れは四回表の攻撃にも引き継がれ、二番古賀選手のライト前タイムリーなどで3点を追加しリードを5点と広げる。しかしこのままやすやすと引き下がれないウインズ。最終回に猛追を見せる。この回から登板のレッド古賀投手を責め立てる。先頭の永渕選手が一塁線強襲の二塁打で出塁すると、四球を絡め満塁のチャンス。五番桐島選手のレフトへの犠牲フライ、この回の守備から出場していた選手登録したての七番岩田選手のライト前2点タイムリーで、その差2点。なお二死満塁。一発長打でサヨナラ。という場面でレッドはエース塚本投手が再登板。打者は前打席、いい当たりのピッチャーライナーを放っている九番松岡選手。3-1からの5球目、打球は・・・この試合の流れを変えたサード八島選手の守備範囲内。なんとかしのぎ8-

6で試合終了となった。雨の影響もあり、両チーム投手が苦戦し四球の多い試合となった。試合の流れを変えたレッド四番八島選手の一打は流石だが、ウインズがいまいち流れをつかめなかったのは、8残塁という結果もあるのかもしれない。（記事：三友クラブ 山本 健一、写真：三友クラブ 大坪 和則、八尋 豊）



レッドサンデーズ先発 塚本投手。



初回、ウインズ桐島選手の右前先行制タイムリー。



二回裏、追加点のチャンスも空振り三振ウインズ四番藤田選手。



気迫の投球も雨でコントロールを乱す。



三回表、レッド四番八島選手の色々な意味で流れを変える見事な逆転満塁弾！



八島選手ホームイン後のガッツポーズ。



四回表、レッド一番古賀選手の決勝2点タイムリー。



四回裏、リリーフ当番の古賀投手だったが・・・。



四回裏、ウインズ五番桐島選手の追撃の犠牲フライ。



四回裏、ウインズ新規の岩田選手の2点差に迫るタイムリー。



ウインズ今林選手が6点目のホームを踏む。



四回裏二死、一発長打でサヨナラも松岡選手サードゴロでゲームセット。

青松園A 三球会が投打でソルトベイスターズを圧倒！！

三苦三球会 (1勝2敗) 14307 15 吉留○ー藤澤

ソルトベイスターズ (3敗) 00000 0 酒井●、小山、中村(耕)ー春田

HR: 藤澤、蓑原、大津(三球会) 2BH: 大津、渡辺、石山(三球会) 盗塁: 大津(三球会)

雨の降る中行われたこの試合、両チームにとって対照的な結果になった。三苦三球会は初回から一番藤澤選手のHRで幸先良く先制する。その裏のソルトベイスターズの攻撃は三球会先発、吉留投手の前に三者凡退で終わってしまう。二回表三球会は、七番渡辺選手の二塁打に相手のエラーが絡み4点を追加する。さらに三回表八番蓑原選手の3ランHRで3点を追加し、五回表には三番大津選手のHRなど打者一巡の攻撃で7点を挙げ試合を決めた。食らいついていきたいソルトだったが立ち上がりから好投を見せていた三球会、吉留投手の前に七番酒井選手のヒットと1四球でランナーを出すのが精いっぱいだった。今回、勝利した三球会は攻守ともに好プレーが見られた。攻撃の面ではHRが3本も飛び出したこともそうだが、相手の隙を突きシングルヒットと思われた打球を二塁打にするシーンや、しっかりボールを見極め8個の四球を選んでいった。守備の面では先発吉留投手が序盤は、ストレートとライズボールを軸にし、終盤はチェンジアップの量を増やすことで最後までソルト打線に的を絞らせなかった。反対にソルト側には四つの野手エラーや六個のバッテリーエラーさらには10個の与四死球と守りでリズムに乗ることができなかった。ソルトはエラーなどでランナーを出すことで守備の時間が長くなり攻撃もリズムが悪いように感じた。いい守備はいい攻撃を生むことになるのではと考える試合になった。(記事・写真:ブルーマリーンズ 井手翔一郎)



挨拶する両チーム。



好投した三球会先発の吉留投手。



ソルトベイスターズ先発の酒井投手。



二回表、盗塁を試みる三球会大津選手。



三回裏、代打おれ！と登場したソルト中村（耕）選手。



三回表、HRを放ち祝福される三球会蓑原選手。

雁レク2 和白リーグ史上初！同日ノーヒッター&サイクルヒット達成！

三苫ホーネッツ（3勝）3 7 3 0 3 1 6 矢野○ー広木

新町パイレーツ（3敗）0 0 0 0 0 0 弥栄●ー桐島、大濱

HR：隈崎、矢野、広木（三苫ホ） 3BH：矢野、松尾（三苫ホ） 2BH：矢野、松尾（三苫ホ）

盗塁：堺（恭）、稲葉、三浦（三苫ホ）

三苫ホーネッツは初回、無死二三塁から三番矢野選手の適時三塁打により2点を先制。さらに無死一三塁より一塁走者の広木選手の盗塁死の間に三塁走者の矢野選手が生還し、初回の攻撃で3点を挙げた。二回もホーネッツは攻撃の手を緩めることなく、試合当日が自身の誕生日であるという八番隈崎選手のバースデー弾となる2点を含めた打者12人の猛攻で7得点と、早くも試合の主導権を握る。一方パイレーツはホーネッツ先発矢野投手の前に、四球や相手の失策で走者は出すものなかなか矢野投手を捉えきれない。四回裏、パイレーツは四球二個と相手失策で二死ながら満塁の好機をつくるも七番本堂選手は遊撃ゴロに倒れる。ここまで被安打0の矢野投手。実は矢野投手、打っても一打席目から、三塁打、単打、本塁打とサイクルヒットにも王手をかけていた。五回表、注目の矢野選手の第四打席の打球はレフトへ。単打かと思われたが、強引に二塁を陥れ、見事サイクルヒットを達成。その裏、矢野投手はきっちり三人で締め見事和白リーグ史上初となる、同日ノーヒットノーラン&サイクルヒットという兩大記録の達成を果たした。ホーネッツの歴史的な大勝であった。

（記事、写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭）



パイレーツ先発の弥栄投手。



先制の2点適時三塁打を放つホーネッツ三番矢野選手。大記録はここから始まった。



バースデーHRを放ったホーネッツ八番隈崎選手。



雨天にも関わらずナイスピッチング、ホーネッツ矢野投手。



最後の打者中島選手を三振に取り、見事ノーヒットノーラン達成。



B Dアーチを放った隈崎選手（左）和白リーグ史上初ノーヒットノーラン&サイクルヒットを同時に達成した矢野投手（中）一本塁打を含む二安打とノーヒットノーラン投手をリードした広木捕手（右）

雁レク3 雨中の激戦？ 大逆転でジャガーズに軍配！

塩浜ジャガーズ（2勝1敗）0 1 1 3 4 1 5 荒木、道喜○ー橋村

三苦フレンズ （3敗）5 2 2 0 9 生野●、御手洗ー佐藤

HR：荒木3、西村（塩浜ジ）3BH：生野（三苦フ）2BH：稲富（塩浜ジ）畑田（三苦フ）

盗塁：佐藤（塩浜ジ）吉村2、生野、畑田（三苦フ）

小雨の中、ジャガーズ先発荒木投手とフレンズ先発生野投手の両投手で試合は始まった。試合が動いたのは、一回裏。ジャガーズ荒木投手の制球が定まらない立ち上がりを攻め、四球、WPなどで5点先制。このままフレンズが逃げ切れるかと思われたが・・・三回表、ジャガーズ一番田中選手が四球で出塁すると、続く二番稲富選手の内野ゴロでWプレーかと思われたが一塁送球の際ファーストのエラーによりWプレーにはならず、続く三番荒木選手のHRにより流れが変わり、ジャガーズの猛攻が始まる。このHRで流れが変わると同時に雨が強くなり、フレンズ生野投手は制球に苦しみ、四球でランナーを溜めてしまい、ジャガーズ九番西村選手に満塁HRを浴びてしまう。なおも攻撃の手を緩めないジャガーズは、三番荒木選手の二打席連続、1イニング2HRという活躍でこの回13得点というビッグイニングを作った。三回裏フレンズも2点を返し反撃するが、四回表ジャガーズ三番荒木選手の三打席連続HRの期待がかかった第四打席、見事期待に応え三打席連続HRを放つ。この試合を振り返ると、先発両投手は雨でボールが滑り制球に苦しむ姿が見られた。攻撃ではジャガーズ荒木選手の三打席連続HR、九番西村選手の満塁HRというHR攻勢で快勝したジャガーズ。HRを打った時のベンチ全員で盛り上がり姿を見て、乗せたら強いチームだなと感じた。（記事、写真：奈多サンデーズ 土田寛太）



三苦フレンズ先発の生野投手。



塩浜ジャガーズ先発の荒木投手。



三回表Wプレーかと思われたが、ファーストが捕球ミス。ここから1イニング13点という大量失点に繋がった。



強い雨のため制球に苦しみ、下投げになる生野投手。



1イニング2HRを含む三打席連続HRを放ったジャガーズ三番荒木選手。



荒木選手のHRを出迎えるジャガーズベンチ。



ジャガーズ九番西村選手の満塁弾で盛り上がりも最高潮！



三回裏、代わった道喜投手からバントヒットを狙うフレンズー番吉村選手。



最後の打者フレンズ九番寺山選手を抑えて、ジャガーズ見事な逆転勝利。

第6週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第6週、6月12日は雨の中4試合が行われ、大記録も達成されました。

青松園Bのレッドサンデーズ対新町ウインズ戦は、両チームの投手が共に雨でコントロールに苦しむ展開。初回3点を先制したウインズだったが、三回表には昨年の奪三振王藤田投手が四球、PBで1点を与えレッドの四番八島選手に逆転満塁HRを喰らう。四回には両チーム共に3点ずつを加えたところで試合終了。8-6でレッドが今季初勝利。レッド塚本投手は初回のリカバリーを果たし、代った古賀投手が作った逆転サヨナラのピンチで再登板して最後を締めたのは流石。

青松園Aの三苦三球会对ソルトベイスターズ戦は、投手力の差が出た試合となった。三球会吉留投手は被安打1、与四死球1、奪三振5とほぼ完ぺきな内容でソルト打線を完封。特に四回裏のクリーンナップを三者連続三振に取ったところは圧巻。三球会は打っても9安打3HR8四死球15得点と三球会のいいところが際立った試合だった。三球会三番大津選手は、あと三塁打が出ればサイクルヒットだったが5打点は見事。

雁レク2の三苦ホーネッツ対新町パイレーツ戦は、ホーネッツ矢野選手が同一選手による大記録を2つ達成。投げては4四死球ながらノーヒットノーラン達成。雨の中での達成は流石です。そして三塁打、単打、本塁打、二塁打として4打数4安打6打点のサイクルヒット達成です。おめでと〜！試合は13安打3HRの猛攻でホーネッツが16-0で勝利して開幕3連勝。一方パイレーツは3連敗。

雁レク3の塩浜ジャガーズ対三苦フレンズ戦は、序盤で1-7とフレンズが大きくリードをするも、雨でコントロールが定まらないフレンズ生野投手をジャガーズが捉え、三回表に一拳13得点を挙げ、終わってみれば18-9でジャガーズの大逆転勝利。中でもジャガーズ三番荒木選手は3打数3安打3HR（3打席連続）8打点の大活躍！九番西村選手も満塁弾を放つなど活躍を見せた。試合後ジャガーズ水流監督が審判の奈多サンデーズ選手に「泥試合ですんません」と話していたが、その顔は嬉しそうだった。

今回は年末の表彰対象として、ノーヒットノーラン&サイクルヒットのホーネッツ矢野選手、1試合3HRのジャガーズ荒木選手が出ました。

サイクルヒットは久しぶりですね。前回達成は平成23年10月16日の当時奈多サンデーズ八島選手（現レッドサンデーズ所属 すみません私です）以来5年ぶり。

1試合3HRは平成26年9月7日奈多サンデーズ田中俊弘選手以来2年ぶりとなります。